

コンサルタントの現場から

第85回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

内なる国際化

意外に多い日本への不満

在外日系企業のご支援をさせていただいていると、グローバル本社である日本に対する不満をよくお聞きする。一部を紹介させていただくと以下のような内容だ。

「各事業部が、色々な資料を出せと言ってくる。同じような内容なのに、すべて様式が違う。さらに、日本語で送ってくる」ところもある。現地語でとまでは言わな

外出経験のない人が多い職場では、現地事情もわからず、さらに語学力も不足している、日本と同じ感覚で海外出向者に指示をしてくるということもある。このような状態では、出向者はとてもやっていられないということになる。

2000万の電話番号

以前、海外拠点の経営責任者を「2000万円の電話番号（メール番）」と言われた方がある。本人は、そんなにもらっている訳ではないのだが、海外出向者にかかる費用は高い。現地での海外給と共に日本の国内給、さらに、海外での住居費や車代はじめ、通訳等の費用も入ると出向者一人だけでも莫大な費用がかかる。それだけ費用のかかる人が何をしているかというところ、日本からのメールや電話の対応に追われている。

このような状態だと、出向者の間では、日本の本社に対して、まるドメ（まるっきりドメステイック）とか、OKY（お前が来てやってみる）と言いたくなるのは、もっともなことである。

ところで、海外拠点の立場としては、このような状態に対し、愚痴を言っているだけでは、何も変わらない。日本の内なる国際化を推進するには、実は、海外拠点が大きな役目を果たすのだ。

そのポイント

日本をグローバル化させるをえない環境に追い詰めてしまうことだ。

「2000万の電話番号（メール番）」という言い方をされたのだ。

グローバル化が進んでいる企業であれば、メールや電話は、直接、担当のローカルメンバーとやりとりし、出向者にはそのフォローという意味で、CCでメールが入るが、内なる国際化が遅れている企業は、何でも、出向者に連絡してやる。ローカルメンバーと直接やりとりするのはほとんどない。

このような状態だと、出向者の間では、日本の本社に対して、まるドメ（まるっきりドメステイック）とか、OKY（お前が来てやってみる）と言いたくなるのは、もっともなことである。

この場合、一番抵抗があるのは、語学力の問題だろう。きちんとした英語でのやりとりが自信がなくなることが多い。実は、ローカルメンバーでも、日本ほどではないにしても、英語が得意と言えないメンバーもいる。これをブレイクスルーするには、意味が伝わればよいので、単語だけを綴ったブロークンでよいということを両者に伝えることだ。やりとりしている間に、いつの間にか抵抗感も無くなり、日本の本社メンバーとローカルメンバーとの意思疎通も図れるようになる。その内、日本の中には、タイ語を勉強して、ところどころタイ語を挿入してメールしてくる人物も出てくる。要は、コミュニケーションができることが重要で、その抵抗感を無くすことができるればよいということだ。

こうなると、現地事情への理解も進み始め、日本の国際化も加速しはじめる。

出向責任者の皆さんは、本当に忙しい日々を送られている。内なる国際化が遅れている企業であれば、日本からの電話番号（メール番）から脱して本来の仕事に邁進するために、日本本社の国際化を図るように仕向けることも大切ではないだろうか。

先ず大切なこと

ローカル責任者と直接やりとりをさせることだ。

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉

(たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営
常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMC(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

この場合、一番抵抗があるのは、語学力の問題だろう。きちんとした英語でのやりとりが自信がなくなることが多い。実は、ローカルメンバーでも、日本ほどではないにしても、英語が得意と言えないメンバーもいる。これをブレイクスルーするには、意味が伝わればよいので、単語だけを綴ったブロークンでよいということを両者に伝えることだ。やりとりしている間に、いつの間にか抵抗感も無くなり、日本の本社メンバーとローカルメンバーとの意思疎通も図れるようになる。その内、日本の中には、タイ語を勉強して、ところどころタイ語を挿入してメールしてくる人物も出てくる。要は、コミュニケーションができることが重要で、その抵抗感を無くすことができるればよいということだ。

人事情報、掲載します

新任・帰任・異動など

人事情報を掲載させていただきます。掲載ご希望の企業の方は下記までご連絡ください

バンコク週報 info@bangkokshuho.com

铸造メーカー様 (2016年竣工) チョンブリ県



電子機器メーカー様 (2015年竣工) ナコンパトム県



自動車部品メーカー様 (2014年竣工) サムットプラカーン県



タイでの工場建設・増築

お任せください!

タイでの工場建築・増築・設備に経験豊富な日本人が全力でサポート!

提案力かつローコストが強み! 工場内設備・電気設備も一括対応

設計・施工・メンテナンスも一貫して自社社員でフォロー!



お問い合わせはこちら Tel: 081-991-5078 (杉浦)
E-mail: sugiura.tcc@tcctecnica.co.th
TCC TECNICA CO.,LTD.
(本社パトナーニ・支拠点シーラチャ 日本人社員6名)
122 Moo.20 T.Klongnueng, A.Klongluang,Pathumthani 12120

TCC TECNICA CO.,LTD.
www.tcctecnica.co.th



人と空気と水の環境創造



三建設備工業株式会社とタイ王国の実績豊富な上場ゼネコン EMC PUBLIC COMPANY LIMITED社の共同出資会社として建築工事・空調設備・衛生設備・電気設備・クリーンルーム設備などのプランニング設計・施工・保守・リニューアルなどの一体的なサービス

「JAPANスタンダード&ローカルコスト」にてご提案します。

SANKEN-EMC Company Limited

ITF Tower 140/66, 28Floor Silom Road, Suriyawong Bangrak,Bangkok 10500

TEL : 0 2615 6100 FAX : 0 2615 6128-30

E-mail: info@sanken-emc.co.th

www.sanken-emc.co.th